

試行運行路線の運行計画(案)について

第3回品川区地域公共交通会議資料 (令和3年12月27日)

(目次)

1. 運行計画(案)について
 - (1) 運行ルート・バス停留所(案)
 - (2) 運行計画(案)
 - (3) 運行開始予定日
 - (4) 運賃(案)
 2. 車両とバス停留所標識(案)について
 - (1) 車両
 - (2) バス停留所標識(案)
- <参考> 事業を進めるにあたって

1. 運行計画(案)について

(1) 運行ルート・バス停留所(案)

- ①起 点： 西大井駅
- ②終 点： 大森駅北口
- ③主経路地： 大井警察署、品川歴史館、さくら会
- ④営業キロ： 往復6.4km(往路3.2km、復路3.2km)

— : コミュニティバス路線

● ● : バス停候補地(黄:新設、赤:東急バス併用)

--- ● ● : 既存バス路線・バス停



(2) 運行計画(案)

- ①運行時間： 西大井駅発
始発 午前7:00 終発 午後8:30
大森駅北口発
始発 午前7:30 終発 午後9:00
- ②所要時間： 往路20分 復路20分
- ③運行間隔： 30分間隔(8月以降20分間隔に変更予定)
- ④運行回数： 往路28回 復路28回(8月以降変更予定)
※平・土・休日共通
※地域の催事の際は、適宜運休する予定

(3) 運行開始予定日

令和4(2022)年3月28日(月)

1. 運行計画(案)について

(4) 運賃(案)

- 基本的には、一般路線バス(民間バス)と同等の運賃・割引制度を設定
- 東急バス路線との乗り継ぎが可能な一日乗車券の利用や、コミュニティバス専用回数券を設定

- 普通運賃： 1乗車 大人・・・220円(税込み)
小児(小学生以下)・・・110円(税込み)
- 支払い方法： 現金またはPASMO、Suica並びに相互利用サービスを実施するICカード
- 割引制度： 区内の一般路線バス(民間バス)と同等に設定

(参考) 1乗車の運賃表

	現金	ICカード
大人	220円	220円
小児	110円	110円
障害者(大人)	110円	110円
障害者(小児)	60円	55円

- ①障害者・・・普通運賃の半額(ただし、現金払いの場合、10円未満の端数は10円単位に四捨五入する)
 - ・身体障害者：身体障害者手帳の交付を受けている方および介護人は、手帳(またはミライロID)の呈示により普通運賃が5割引
 - ・知的障害者：知的障害者の療育手帳の交付を受けている方および介護人は、手帳(またはミライロID)の呈示により普通運賃が5割引
 - ・精神障害者：障害者保健福祉手帳の交付を受けた方は、手帳(またはミライロID)の呈示により普通運賃が5割引

※「ミライロID」とは、障害者手帳を所有している方を対象としたスマートフォン向けアプリで、ユーザーは障害者手帳の情報、福祉機器の仕様、求めるサポートの内容などをミライロIDに登録できる。
- ②幼児(1歳以上～6歳未満)・・・小学生以上に同伴する幼児2人までは無料、1人で乗車した場合は小児運賃
- ③乳児(1歳未満)・・・無料
- ④高齢者(東京都シルバーパス所持者)・・・東京都シルバーパスの呈示により無料

■ 路線バスとの乗り継ぎ：

東急バス路線との乗り継ぎを想定し、東京都内、川崎市内、横浜市内のすべての東急バス一般路線が一日乗り放題となる「東急バス一日乗車券(大人520円、小児260円)」の利用を可能とする。

※ICカード(PASMO、Suica等)利用時のみ

※障害者割引は「東急バス障がい者割引一日乗車券(紙式)(大人260円、小児130円)」により対応

■ 回数券： コミュニティバス専用の回数券(紙式)を設定(購入は現金払いのみ)

- ①大人：2,000円(220円券×10枚)
- ②小児：1,000円(110円券×10枚)
- ③障害者(大人)：1,000円(110円券×10枚)
- ④障害者(小児)：500円(60円券×10枚)

- その他：
 - ・コミュニティバス専用の定期乗車券は設定しない。
 - ・東急バス等の他路線バスの定期乗車券の利用も不可とする。

2. 車両とバス停留所標識(案)について

(1) 車両

- 車 種： 日野自動車 ポンチョ ショート
- 台 数： 3台（うち予備車両1台）
※8月以降4台（うち予備車両1台）に変更予定
- 仕 様： ノンステップ車両、ディーゼル車
- サ イ ズ： 全長6.99m、全幅2.08m、高さ3.10m
- 乗車定員： 29名（座席10名、立席18名、乗務員1名）
- 主な特徴：
 - ・ニーリング機構搭載（ドアが開くとステップ高が50mm下がる）
 - ・スロープ板(着脱式)を採用（右図参照）
 - ・車椅子固定装置あり（右図参照）
- 感染症対策： 運転席にアクリル製仕切りを設置、車内換気扇の増設
- デザイン： 今後募集する愛称と合わせたデザインなどの外装ラッピングを予定
- 広 告： 運行事業者が募集し、車内に掲示予定
- 車内案内： 1か国語放送、2か国語モニター表示
- 運行情報： バスナビシステム「東急バスナビ」搭載
※東急バスナビ：車両位置や所要時間等の最新の運行情報を提供。
スマートフォン等を活用して、リアルタイムに
運行状況を確認することが可能。

(2) バス停留所標識(案)

- 仕 様： しらゆり型ST（右図参照）
※新設標識、東急バスとの併用標識ともに同型
- デザイン： 新設標識：イメージは右図参照
併用標識：既存停留所にコミュニティバスの運行情報を併記



日野自動車 ポンチョ ショート ※ボディカラーはイメージ

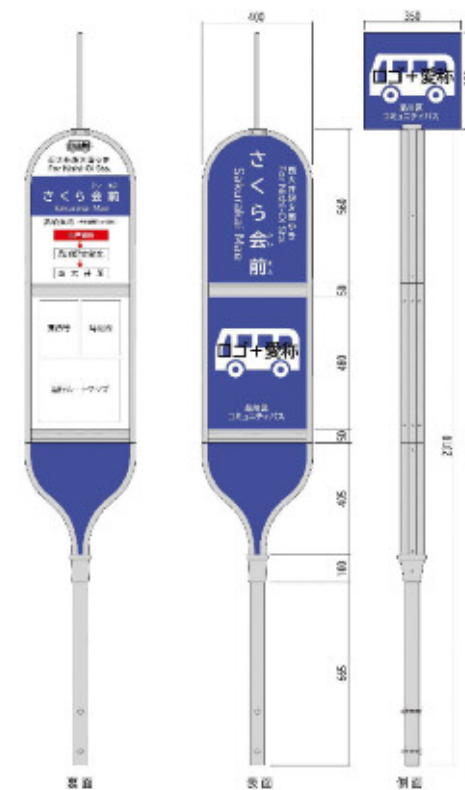


スロープ板(着脱式)



車椅子固定装置

(出典) 日野自動車株式会社のカタログより抜粋



バス停留所標識(新設)のイメージ

- 年間運行経費は、約51,000千円
- 本格導入に必要な乗客数の目安は、1日あたり350人（片道1便あたり6.25人） 注）乗客全員が運賃220円を支払った場合の試算

① 運行経費の試算

■ 年間運行経費：	約51,000千円	（運行事業者による試算）
（内訳）人件費	約45,000千円	
燃料費	約1,000千円	
車両維持・修繕費	約1,500千円	
諸経費	約3,500千円	

② 本格導入に必要な乗客数の目安

- 収支率50%以上となるために必要な収入：

運行経費51,000千円×50% = 25,500千円



- 本格導入に必要な乗客数の目安：

運賃220円を支払って乗車する人が 1日あたり350人（片道1便あたり6.25人）

※ 350人×200円(税抜)×365日 = 25,550千円

※ 350人÷(往路28便+復路28便) = 6.25人

■ 試行運行期間と本格導入の判断基準

- 試行運行期間：4年間（令和4年3月～令和7年度）
※ 3年目の運行実績に基づき、本格導入 or 見直し(廃止含む)を判断
- 判断基準：収支率50%以上

※ 運行台数を変更した際や西大井循環区間の運行を開始した際は、「運行経費」とともに「本格導入に必要な乗客数の目安」も変わるため注意が必要

③ 利用促進に向けて

- PR活動の実施（広報誌、ケーブルTV、沿線地域等へのチラシ配布）
- 沿線住民や利用者等からなる「(仮称)利用者連絡会」を設置〔運行開始後〕
- アンケート調査によるニーズの把握〔運行開始後〕
- 運行計画の検証・改善〔運行開始後〕